

第1回昭和の森 おやこ田んぼ教室

おやこで田植えを体験しよう！

山下美佐子(東金市)

日時:2012年5月12日(土)9時30分~12時 天候:晴れ

参加者:36人(子ども20名,大人16名)

担当指導員:山田益弘、後藤菊子、山下美佐子、花島伸美、佐野由輝

田植え指導:昭和の森ビオトープの会 西川章さん

田植え見守り隊:ビオトープの会会員等8名

初めての「昭和の森おやこ田んぼ教室」は、たくさんの応募があり、抽選で11組(36名)の親子の参加としました。テーマは、「親子で田んぼに入り、米作りを体験することで、農業や自然の大切さ、田んぼの生き物の命のつながりに気づく」です。

少し肌寒い天候でしたが、田植え初体験の大人は、子どもよりも田植えをとっても楽しみにしていたようでした。最初に今日植える田んぼは、昭和の森の自然を保全している「昭和の森ビオトープの会」が、スコップとクワで葦の生い茂る荒地を掘り起し、草の根っこを取り除いた田んぼであること、また、田んぼは米作りをするところであると同時にヤゴやドジョウ、オタマジャクシなど、たくさんの生き物が生まれ、育ち、食べる食べられるの命のつながりの場所でもあることを話し、蛍田へ向かいました。

蛍田に到着後、西川さんからイネの植え方について話を聞き、田植え開始です。年長から6年生までは保護者と一緒に一列に並び、一斉にイネを植えていきます。「オタマジャクシだー、アメンボだー」と生き物を目に留めながらもあつという間に田植えは終わってしまいました。年中さんから下組はその間、泥んこ遊びを楽しみました。田植えや生き物の観察後は、イネの原産地や栽培暦、田んぼの生き物のつながり一植物プランクトンからサギの紙芝居、田んぼの自然ビンゴゲームを楽しみました。

子どもの感想:田植え、カエル、ドジョウ、アメンボを捕まえた、草笛、いろいろな生き物が観られた等。隣の人に植えた稲を壊された、水が冷たかった

大人の感想:田植え面積が少なくもう少し植えたかった、めったにできない経験ができて大満足、子どもに良い経験ができた、田植えだけでなく、自然の生き物の説明があって良かった、稲刈りが楽しみです等、いただきました。

初めての田んぼ教室は、無事に、参加して良かったの感想を多数いただき、スタッフ一同ホッと胸をなで下ろしました。これは、「昭和の森ビオトープの会」の皆様の温かいご助言、ご協力のおかげです。本当に心から感謝します。ありがとうございました。

